

## ふるさと岩出市応援寄附金返礼事業中間管理業務委託に係る公募要領

ふるさと納税制度を通し、市の魅力発信や新たな資源の掘り起こしを図るとともに、返礼品の内容充実と調達発送の迅速化、寄附者からの問合せ対応の強化などを目指すために、ふるさと岩出市応援寄附金返礼事業中間管理業務について、プロポーザル方式により委託事業者の選定を行うため、提案書の募集を行う。

### 1. 公募事項

- (1) 案 件 名：産振第27号 ふるさと岩出市応援寄附金返礼事業中間管理業務
- (2) 業務内容：別紙1「ふるさと岩出市応援寄附金返礼事業中間管理業務委託仕様書」のとおり
- (3) 契約期間：「楽天ふるさと納税」等のふるさと納税を行うことができるサイトの中間管理業務を委託する期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までとする。ただし、令和8年4月1日から運用を開始できるよう、それまでの間も前事業者からの引継ぎなど、必要な準備を進めること。  
なお、市長が業務履行状況を良好と認めた場合は、再契約を可能とする。  
また、この契約は長期継続契約のため、契約締結日の属する年度の翌年度以降において、歳出予算の当該金額について、減額又は削除があった場合、この契約を変更又は解除することができる。

### 2. 応募資格

次に掲げる全ての要件を満たしていること。

- (1) 参加申込書の提出期限日までに岩出市入札等参加資格者名簿に登録されている者
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (3) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者、又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2項に掲げる暴力団及びこれらの利益となる行動を行う者でないこと。
- (5) 国税、県税（県内事業者のみ）、市税について未納がない者であること。

### 3. 参加資格の停止

次の項目に該当することとなった場合は、参加を取り消すこととする。

- (1) 公告の日から優先交渉権者決定までの期間に、参加資格要件を満たさなくなった場合
- (2) 提出書類が期限内に提出されない場合

- (3) 提出書類に虚偽の記載をした場合
- (4) 見積限度額（業務委託料の提案率）が上限を超える場合
- (5) 本件に関して不正な行為、公正さを欠く行為等があった場合
- (6) その他市長がプロポーザルに参加させることが不適当であると認めた場合

#### 4. スケジュール

項 目	日 程
提案書作成に係る質問受付	令和7年12月17日（水） 午後5時00分まで
参加申込書の提出期限	令和7年12月26日（金） 午後5時00分まで
提案書の受付期間	令和8年1月13日（火） 午後5時00分まで
審査会	令和8年1月16日（金）（予定）
審査会結果の通知・公表	令和8年1月21日（水）（予定）

#### 5. 応募手続

##### (1) 担当者

岩出市役所 事業部 産業振興課（担当：下）

〒649-6292 和歌山県岩出市西野209番地

電話番号：0736-63-5840 FAX番号：0736-63-5841

電子メール：sanshin@city.iwade.lg.jp

##### (2) 提案書作成に係る質問について

①質問期限：令和7年12月17日（水） 午後5時00分まで

②質問方法：説明会は開催しないため、「質問票」（様式2）を電子メールで「5.（1）担当者」まで送付すること。送付後に同票が届いたかどうか担当者まで電話で確認を行うこと。

③質問回答：随時、質問者及び「5.（3）」の参加申込者に電子メールにより回答する。

##### (3) 参加申込書の提出について

①申込期限：令和7年12月26日（金）午後5時00分まで

②申込方法：「プロポーザル参加申込書（様式1）」により、電子メールで「5.（1）担当者」まで送付すること。送付後に同申込書が届いたかどうか担当者まで電話で確認を行うこと。

##### (4) 提案書等の提出

①プロポーザル参加者は、「プロポーザル申請書（様式3）」「提案書（様式任意）」、「経

費に係る見積書（任意様式ではあるが、「経費算出の内訳」を添付すること。その際、内訳の根拠となる資料を求めることがある。）」、「誓約書（様式4）」、「提案者概要書（様式5）」及び「役員等に関する調書（様式6）」について、令和8年1月13日（火）午後5時00分までに郵送（期限内書留必着で7部（正本1部、副本6部））及び電子データにより、「5.（1）担当者」あてに提出して下さい。

提案書の提出後、提案書が届いたかどうかの確認を必ず担当者あてに電話で行うこと。

- ②プロポーザル参加者1者につき1提案とする。業務委託料は、寄附金の5%（消費税及び地方消費税を除く。）以内とする。

【参考】過去の寄附実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
金額（千円）	6,977,000	7,785,000	11,098,000

※上記金額は、返礼を要さない寄付を含む。

- ③一度提出した提案書及び見積書は、これを書換え、引替え又は撤回することができないものとする。

#### ④岩出市の経費負担

受託者に支払う経費は次のとおりとする。

（1）前項に基づく業務委託料

（2）返礼品代金、梱包代などの諸経費、消費税・地方消費税相当額及び送料の合計額。ただし、返礼品代金（税込）は寄附金額の30%以内とする。

## 6. 見積書の徴取

岩出市と優先交渉権者の間で協議を行い、協議が整った時点で地方自治法施行令第167条の17の規定に基づき、長期継続契約を締結する。なお、当該契約にあたり、企画提案書および参考見積書（別紙2様式2）をもって、そのまま契約を締結するとは限らない。

## 7. 審査・選定方法

- （1）下記審査基準に合致する事業者を選定するため、プロポーザル審査会を実施し、各事業者の能力等を把握するものとする。
- （2）提出された提案書及び添付書類について、プロポーザル審査会による審査を実施し、委託事業者を選定する。
- （3）採用となった提案書については、提案内容の一層の充実を図るため、岩出市産業振興課と協議の上、変更する場合があります。
- （4）審査結果は参加者に通知するとともに、岩出市のウェブサイト上で公表するものとする。

## 8. 審査基準・配点

### (1) 審査項目及び評価内容

提案内容については、別紙2の項目に基づき数値（得点）で評価し、契約候補者を選定する。

### (2) 契約候補者の選定について

各審査員の評価点の合計が、満点の6割以上である事業提案を行った提案者のうち最高評価点の提案者1者を契約候補者とする。提案者が1者の場合においても、評価点の合計が満点の6割以上に達している場合、当該提案者を契約候補者に選定する。

### (3) 評価点が同点の場合の決定方法

「①～④事務局評価事項」の評価点の小計点が高い事業者を選定する。さらに、同点の場合は、以下順に⑤、⑥、⑦、⑧、⑨の点数を比較し、点数が最も高い事業者を選定する。

上記においても評価点が同点であった場合、審査の合議により契約候補者を選定する。

## 9. 失格事由

以下の条件のいずれかに該当する場合は、失格となることがある。

### (1) 参加資格を満たさない場合

### (2) 提案書の提出方法、提出先、提出期限に適合しない場合。

### (3) 提案書の作成のための仕様書等に表示された条件に適合しない場合

### (4) 提案書に記載すべき事項の全部または一部が記載されていない場合

### (5) 提案者に次の行為があった場合

①委員に対して、直接、間接を問わず故意に接触を求めること。

②他の提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行うこと。

③事業者選定終了までの間に、他の提案者に応募事案の内容を意図的に開示すること。

④応募提案書類に虚偽の記載を行うこと。

⑤その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと。

## 10. 選定結果の通知方法

審査結果は契約候補者を選定後、すみやかに参加者に通知するとともに、岩出市産業振興課のウェブサイトに掲載します。

## 11. 契約の締結

選定した契約候補者と岩出市産業振興課は、提案内容をもとに、協議の上で仕様書の内容を確定して契約を締結するものとする。

なお、協議が整わない場合又は契約候補者が契約を辞退した場合は、選定結果において、次点の候補者と協議する。

12. その他

- (1) プロポーザル参加者が岩出市に提出した書類に含まれる著作物の著作権は、第三者に権利の対象となっている部分を除き、プロポーザル参加者に帰属する。
- (2) 提出書類は返却しない。
- (3) 提案内容に含まれる特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果生じた責任は、原則としてプロポーザル参加者が負担するものとする。
- (4) 責任の所在を明確にする観点から、共同提案は受け付けない。
- (5) プロポーザル参加者が本件提案に要した費用については、全て参加者が負担するものとする。
- (6) 提案書に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

以上